

# 全世代型社会保障改革について

人生100年時代の到来を見据え、「自助・公序・共助」そして「絆」を軸に、お年寄りに加え、子供たち、子育て世代、さらには現役世代まで広く安心を支えていく「全世代型社会保障」の構築を目指します。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

## <少子化対策>

日本の未来を担うのは子供たち。長年の課題である少子化対策を大きく前に進めます。

(参考) 令和元年出生数:86万5千人(過去最小)・合計特殊出生率:1.36%、令和2年4月待機児童数:12,439人

- ・ **不妊治療**：令和4年度から**保険適用**。助成制度は**大幅拡充**（所得制限撤廃、助成額1回30万円に増額等）  
➡ **不妊治療が受けやすく**
- ・ **待機児童解消**：4年間で約**14万人分**の保育の場を整備  
※ 財源は、年収1,200万円以上の方の児童手当見直しと、経済界からの拠出  
➡ **待機児童問題に終止符**
- ・ **男性育児休業取得促進**：出生直後の休業取得促進制度を創設  
➡ **男性も育児参加**

## <医療>

令和4年から団塊の世代が**75歳以上の高齢者**に。現役世代の負担上昇抑制が課題です。

(参考) 現役世代から後期高齢者への支援金 令和2年度:6.8兆円⇒令和4年度:7.2兆円⇒令和7年度:8.2兆円

- ・ **75歳以上の窓口負担**：令和4年度から課税所得**28万円かつ単身の場合年収200万円（ご夫婦の場合は合計年収320万円）以上の方は、2割負担**をお願いします。  
➡ **現役世代の負担軽減 年間▲約740億円**
- ・ **医療機関の役割分担推進**：大病院に紹介状なしで受診した場合の定額負担について、対象病院（200床以上で地域の実情に応じて明確化される紹介患者への外来を基本とする病院）や負担額を見直します。  
➡ **医療機関の役割分担推進**